



天文資料

2022年 12月号

令和4年度 第9号 (12月号)

令和4年11月26日

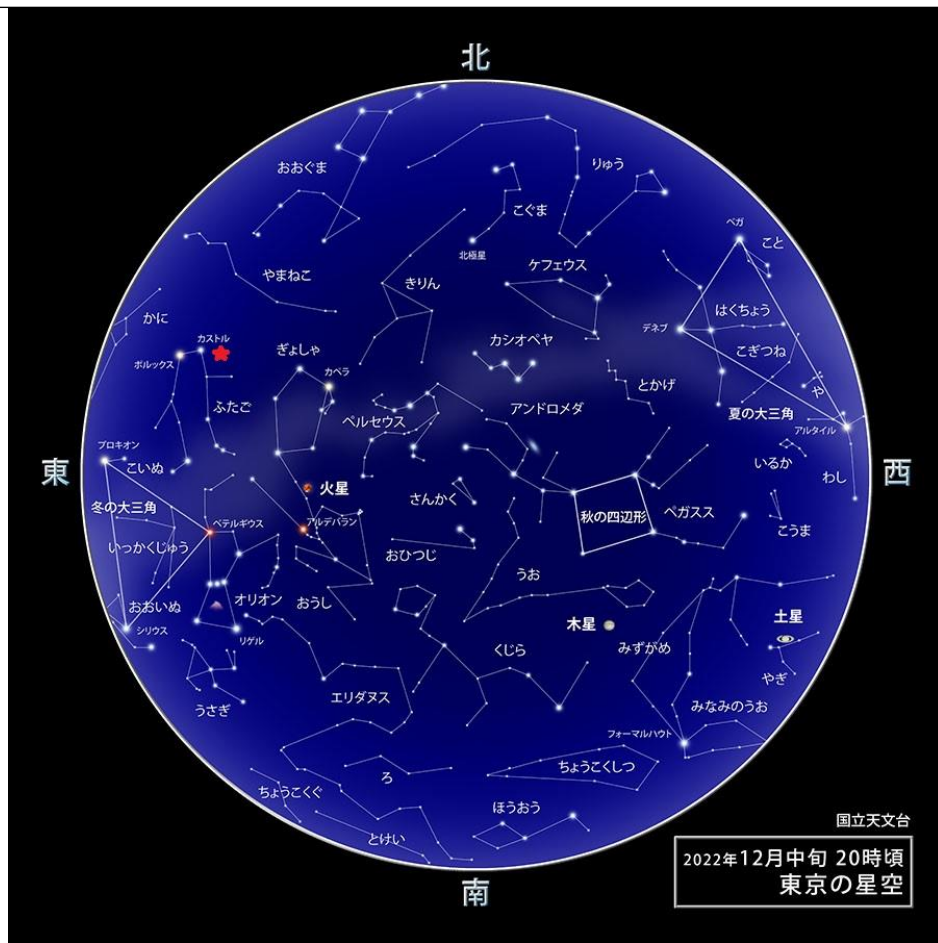
発行：佐世保市少年科学館

佐世保市少年科学館



<火星が地球に最接近！>

12月は、22日に冬至となり、一年で夜が最も長い月と言えます。星空も長い時間見られます。1日に火星が地球に最接近します。また8日には、一晩中観測可能な時期を迎えます。深夜を中心に高い空で赤っぽく輝く火星に注目です。ふたご座流星群は、14日夜が極大です。月明かりの影響の少ない夜半前が観察におすすめです。



国立天文台
2022年12月中旬 20時頃
東京の星空

宵の空には、土星と木星が輝いています。26日から29日には、月が土星と木星に近づき、年末の空も華やかです。

- 1日 火星が地球に最接近
- 7日 大雪(太陽黄経255度)
- 8日 満月
- 14日 ふたご座流星群が見ごろ
- 16日 下弦
- 22日 冬至(太陽黄経270度)
- 23日 新月
- 30日 上弦



天体観望会のお知らせ

12月10日(土)18:00～ (11月26日(土)9:00から受付開始)

電話予約制(23-1517) 定員40名

当日が雨天、曇天の場合はプラネタリウムで星座解説を行います。

観覧料: 小中学生150円、高校生以上320円